

9条連・近畿事務局

共同代表 佐々木昭示、菅野武男、舟山守夫殿

9条連・近畿事務局の組織運営に対する抗議と団体加盟の解除・脱会について

私たちは、昨年11月以降、貴事務局代表に対し、三度にわたる申し入れを行い、誠意ある説明と回答を求めてきました。しかし、今日に至っても一切の説明も回答もありません。貴事務局代表のこの度の姿勢は、断じて許されるものではありません。

貴事務局の佐々木、舟山共同代表は、JR東海労から事務局員として参加している笹田と康乗が9条連・近畿の運営を妨害しているかのような言動を繰り返してきました。従って私たちは貴事務局代表に対して、この真意を明らかにして、問題を解決するために繰り返し申し入れを行ってきました。

しかし、貴事務局代表は、三度の申し入れに一切回答しませんでした。その他方で、「賛助団体問題」について議論出来ないことを理由にして、総会の延期を一方的に決定しました。このように、9条連・近畿の運営ができないすべての責任をJR東海労に転嫁して、JR東海労を9条連から排除することを企てているのが貴事務局代表です。

一方、昨年10月の衆議院選挙の結果、「改憲勢力」は過半数を下回りましたが、憲法9条改正を持論とする石破新首相の所信表明演説では、岸田政権の安全保障政策と軍拡政策を引き継ぐ意思を表し、憲法改正については「総理在任中に発議実現」と表明しました。立憲民主党の枝野元代表が衆院憲法審議会会長に就任し、自民党内の「改憲族」との国会運営を取り仕切ろうとしています。このような中、憲法9条を守り広める取り組みは急務の課題です。

ところが、9条連の「特定の政党や党派に左右されることなく、思想・信条や宗教上の違いを超え、連帯を重視し、憲法改悪を許さない運動の発展」の目的を忘れ、真実を訴えるJR東海労を忌み嫌い、組織運営ができない責任転嫁と排除を企てている9条連・近畿にこれ以上、留まる目的は私たちにありません。従って、私たちJR東海労新幹線関西地方本部は、9条連・近畿への団体加盟を解除し、脱会することに致します。

現在の9条連・近畿事務局共同代表者の組織運営は、真面目な会員に対する裏切りであり、責任を放棄していると言わざるを得ません。私たちは、今後も真面目な団体・組織の方々と共に憲法9条を守り広める取り組みを強化していきます。

以上

2025年1月16日

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

